

常任委員会行政視察レポート

総務企画常任委員会

昨年の11月28日、福島県泉崎村の自主的財政再建の取り組みについて、視察しました。泉崎村は、福島県のほぼ中央に位置し、規模は、本町の二分の程度です。なお、この村を視察先に選んだ理由は、積極的な財政再建に取り組んでいることがマスコミに取り上げられたからです。

泉崎村は、村の土地を造成したところ、バブル経済の崩壊により、赤字額が68億円となり、多額の借金を抱えました。そこで、財政再建を行うにあたり、村民には負担増を求めず、自分たちの力で乗り切る計画を作成しました。経費の削減は、大半の自治体でも行っており、驚くほどでもなかったが、感心させられたことは、行政と議会が力を合わせ、数値目標に向けて積極的に再建に取り組み、村民との協働ができ上がっていました。

当町においても財政が厳しい中で、財政健全化に向けて大変参考になりました。
(勝俣公好記)



教育福祉常任委員会

昨年の11月8日、岐阜県高山市の「煥章館」を訪れ、図書館の管理運営等について視察しました。高山市は、平成17年に合併し、人口は9万6千人、面積は全国一広い都市となりました。

「煥章館」は、平成16年に市民の熱い要望で建設され、「煥章」とは、中国の論語で「輝かしい文化を築く」との意味であり、その名にふさわしく素晴らしい建物で、木材をふんだんに使い、ホットする空間をつくり出しています。また、近代文学館と生涯学習ホールを併設しており、1階には子ども図書館があり、本を借りるだけでなく、子育ての情報交換や、子育て支援の場にもなっています。2階は閲覧室と書架で、長く続く書架棚は、誰をも本の世界に引き込まれる設計となっています。

平成17年度は、一日平均800人、1,625冊の利用があり、その他いろいろな文化講座等を行っていますが、現在、指定管理者制度で運営を行っており、企画運営の強力なスタッフが育っていないことや、周辺部の図書の実が課題となっていると述べていました。
(山田記)



観光環境常任委員会

昨年の11月24日、滋賀県長浜市を視察しました。

長浜は昨年、NHK大河ドラマで取り上げられ、市も関連イベントを11か月間の長期にわたり開催し、集客に努めた結果、平年より約2割増の観光客を見込むとのことでした。確かに、駅から間近にある観光スポットということもあり、平日にもかかわらず、大勢の人たちが街を闊歩しており、まず驚かされました。

長浜の観光は、そもそも観光地を目的に整備されたのではなく、中心市街地の活性化に伴い、観光地に発展したという特徴があります。それが、古い街並みをうまく活用した、住民と協働の生活と文化の匂いがする「黒壁のまちづくり」です。なお一層これからも市民と一緒

になって未来の長浜を考えたいという姿勢が非常に参考になりました。
(沖津記)



編集後記

昨年の10月に湯本小学校で「のぞいてみよう本の世界、みんなおいでおはなしのくにゆもとへ」という読み聞かせのイベントが行われました。

講師に笠原由紀子さん（横浜市都筑図書館職員）が「子どもを本好きにするには、親子で本を楽しもう」と題してお話をしてください、とても勉強になりました。

テレビやゲームなど読書のほかにも子どもたちの楽しみ手段がたくさんある中で、お母さん、お父さんが読んであげる読み聞かせは、子どもにとって何よりも心の栄養であり、家庭でできる一番身近な取り組みで、その効果はとて大きいそうです。

箱根町でも各小学校で、お母さん方による読み聞かせが行われています。私も親子で読み聞かせが楽しんでいただけるように、もっと広げていきたいと思っております。

(村野記)
議会だよりはこね編集委員会
委員長 勝呂昌子
副委員長 村野由紀子
委員 員 勝俣公好